

破傷風トキソイド供給停止に伴うお知らせ

現在破傷風トキソイド(ワクチン)は、7月9日より製薬会社からの出荷が停止しており、全国的に入手できなくなっております。当院でも破傷風トキソイドの接種対応は困難になりました。外傷のあるかたに対しては洗浄や基本的な感染対策等を実施させていただきますが、破傷風の発症予防については十分とはいえません。今後ワクチンの供給が再開され次第改めてお知らせ致します。当面の間、患者様にはご心配をおかけ致しますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

《 破傷風について 》

破傷風菌は土がある環境や動物の体内・糞等にいる菌で、主に傷口から体内に入り込みます。菌が傷口に入っても、傷の挫滅、砂や泥など異物混入、混合感染等がなければ発症は少ないです。傷を負ってから発症する迄の期間は3~14日(平均7日)です。

※ 受診後でも、傷や状況が次の場合は破傷風を発症するリスクがあります。

- 傷を負って6時間以上たってから症状が出た場合
- 傷が直線的ではない。傷の深さが1cm以上。
- 傷が挫滅していたり熱傷・凍傷によって生じた場合
- 傷やその周辺が壊死している場合。
- 傷が汚染している場合。



※ 破傷風の症状としては以下があります。

- 口が開きづらい(開口障害)
- 顔の筋肉がこわばり笑顔のようになる(痙笑)
- 腕や体の大きな筋肉のピクつき
- 重症の場合は、全身をのけぞるようなけいれん発作や神経症状
- 他、倦怠感、呂律が回りにくい、飲み込みにくい、首筋のつっぱり等



もし破傷風を疑う症状が出現したら早めに受診されることをお勧めします。なお、重症者を優先的に診療させていただきますのでご了承ください。